１．技術開発の内容と経緯

● 技術開発の目的と背景

現在進行中の社会変化に対応する、新しいオンライン・コミュニケーション環境を開発することを目的とした。

近年、社会の至る所で「人と人の関わり合いの変化」が見られるようになってきた。企業などの組織体の中においては、階層構造を持つピラミッド型から、フラットなネットワーク型へ変化しているようである。地域社会においては、共通の趣味や興味を持つ人々がサークルなどの市民コミュニティーを形成する動きが目立っている。近年、NGO や NPO の活動が盛んに行われ成果を上げている例が多いことも、この一連の現象に関係するものであると思われる。

この様々な変化を私たちは、従来、目に見える組織が持っていた求心力を、人々の持つ「興味や関心」が直接的に求心力を持つようになった結果であると考えた。この現象において注目すべきは、「興味や関心」は目に見えないという点である。具体的な対象ではなく、社会的なメタ概念に求心力が与えられる時代が到来しつつある。私たちは、この現象の背景に以下の二つの要素が大きく関わっていると考察した。

１．情報通信技術の発達

環境や場所を問わず個人が様々な情報を入手できるようになった。

２．自由な社会の到来

組織や場所を移動することに対し、個人が負担するコストが激減した。

また私たちは、この現象が次の点によって特徴づけられていると考察している。

「連続するアドホックなグループ生成」

前述した社会背景（２：自由な社会の到来）によって、一見、個人が各々の生活を楽しむ機会は増加しているように思える。しかし、実際には社会背景（１：情報通信技術の発達）における情報環境において構造的な問題が発生している。

SEARCH ENZIN, All Rights Reserved.

個人が入手することのできる情報は近年爆発的に増加しているが、それに伴って、個人が自らの興味・関心とマッチした情報を探すことが難しくなっているのが現状である。それは、従来のように組織などの明確な対象を頼りに情報を探すのではなく、現在においては「興味・関心」というメタ概念がそのキーワードになってきているからであることも、原因の一因と考えられる。また、個人が求める対象そのものの性質が、アドホックなグループであるということも関係している。

本開発プロジェクトにおいては、この新しい社会において個人が自らの好奇心を思いのままに行動に結びつけることができるツールを開発することを目的とした。目に見えないメタ概念にフォーカスが当てられる現代にこそ、セマンティック化された新しい情報環境が個人の社会生活において果たせる新しい役割があると確信している。また、連続するアドホックなグループ生成に対応した情報環境を提供することにより、実際（オフライン）の行動において更なる活性を生むことを狙い、期待している。

- **実装を行った主な機能**

  1. **要素毎の公開範囲設定機能（SCMS）**
     （オフラインで生じるアドホックなグループ生成に対し柔軟に対応可能な情報共有機能）
  2. **コミュニケーションの過程で、関連する各要素に対して自動的に意味づけを行い、要素間の関連度を測定する機能（IPP）**
     （人と情報を要素として扱う、セマンティック・システム）
  3. **直感的・視覚的な情報表示・操作機能（SQUARE）**
     （FLASH を用いたビジュアル・インターフェイス）

以上の機能を核にした、汎用性と実用性を兼ね備えた、新時代のコミュニケーション・プラットフォームを「サーチ縁人」として今秋（2005 年）リリース予定である。

- **ウェブサイト**

本プロジェクトの最新情報は、以下のウェブサイトでご確認頂けます。
http://www.enzin.net/

SEARCH ENZIN, All Rights Reserved.

２．開発を行った機能の詳細と画面イメージ

１．要素毎の公開範囲設定機能（SCMS）

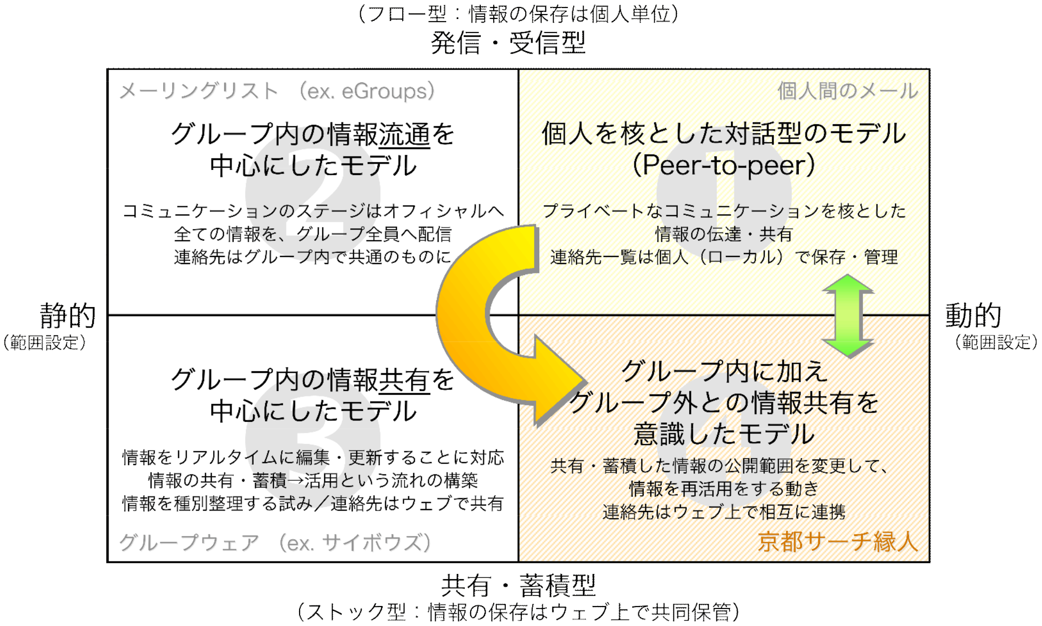
“*Social Contents Management System*”

要素単位の無制限公開範囲設定を実現した。具体的には、以下の二点に要約することができる。

①　人間の自然な感覚に即した形で、情報の公開先を変更できる点
②　同一の文書の公開先を変更するだけで、文書の役割を変えられる点

これらによって、オフラインで発生するアドホックなグループ形成に対応した情報共有環境を実現している。本システムは、グループのメンバーを動的に変更を可能で、かつ、情報は共有・蓄積型という、コミュニケーション・ツールとして新しい形態を取っている。公開範囲の設定を変化させるだけで、既存の情報流通の枠組みであるメール・メーリングリスト・ウェブログと同じ機能をシームレスに扱うことが可能である。

また、公開範囲の変更は人のアバターを円の中にドラッグするだけでよい。このインターフェイスは Flash によって実装された。人のアバターを用いることによって、従来手法に比べて、飛躍的に視覚的かつ直感的に扱えるようになっている点が新しい。



SEARCH ENZIN, All Rights Reserved.

２．コミュニケーションの過程で、関連する各要素に対して
自動的に意味づけを行い、要素間の関連度を測定する機能（IPP）

“*Information Powered by Person*”

「情報」と「人」を要素として扱うセマンティック・システムを構築する仕組みを開発し実装した。本システムは、「情報」と「人」をその要素として扱うセマンティック・システムである。「情報」はその発信者である「人」を表す材料であると捉え、この「情報」と「人」両要素の関係をシステム内で関連づけたところに新規性があると考える。具体的には、ユーザーがメッセージを投稿する際、システムはそのメッセージをインデックス化し、その結果を「キーワード」としてメッセージ（＝情報）と発信者（＝人）の両方に関連付けている。その結果、「情報」と「人」は互いに共通した概念（＝キーワード）で特徴付けられることになり、ユーザーは自らの興味のままに「情報」と「人」を自由にブラウジングすることができる。

３．直感的・視覚的な情報表示・操作機能（SQUARE）

“*Visual Interface System*”

本システムは、情報の表示・操作にビジュアル・インターフェイスを採用していることが一つの特徴である。視覚的・感覚的な刺激を利用者に与えることがその目的の一つであり、また同時に直感的な操作環境を提供することによって、利用者層の拡大を狙っている。

「ビジュアル・インターフェイス」

メッセージの公開範囲をビジュアルで表示している

SEARCH ENZIN, All Rights Reserved.

個人毎のコミュニケーション・ポータル・ページ「マイ・ページ」

周囲とのあらゆるデジタル・コミュニケーションが統合された状態で表示される

情報毎に自由に共有範囲を設定・再設定することができる「情報表示画面」

共有範囲を上部にビジュアルで表示し、下部に共有内容を表示している

一度ドキュメントを作成した後であっても、共有範囲は随時変更可能である

SEARCH ENZIN, All Rights Reserved.